

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

## 報 告 書

平成 27 年 月 日

湯前議会議長 山下 力 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成 27 年 11 月 20 日（金）
場 所	熊本県市町村自治会館 本館 2 階 講堂
目 的	平成 27 年度町村議会広報研修会

報 告 の 内 容	<p>演題：「地方創生は議会だよりから！！～クリニック&amp;ワークショップ～」</p> <p>講師：熊本日日新聞社 N I E 専門委員・熊本大学客員教授 越地真一郎氏</p> <p>参加：全 4 部の内、本町は第 4 部に参加（8 自治体）</p> <p style="text-decoration: underline;">湯前町、水上村、多良木町、あさぎり町、錦町、五木村、球磨村、玉東町</p> <p><b>1. 座学 「議会だよりクリニックを始める前に基本項目の確認」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会だよりは、会議録ではなく情報誌。 具体性、根拠のある内容は説得力がある。主観的な内容は説得力がない。</li> <li>・「伝える」と「伝わる」は別。自分の中にデスク※を設ける。 ※：記者が書いた原稿に間違いがないかチェックしたり、読者が読みやすくなるように手直ししたりする人のこと。</li> <li>・見出しは、記事にどういことが書いてあるのか分からせ、読む意欲をひきだす役割がある。記事の中から一番大切な部分だけを生かし強調する。</li> <li>・記事は、リード文で決まる。リード文とは、ポイント（特色）は何だったのか、主にどんなことが可決されたのか概要（まとめ）を示す前文のこと。 リード文をもっと重視したほうがよい。 リード文の 3 パターンは、①結論 ②理由（背景） ③意義（展望）</li> </ul>
-----------------------	---

## 2. 議会だよりクリニック

「玉東町、錦町、あさぎり町の議会だよりのコメントを確認」

- ・ 広報は、量より質。
- ・ 記念写真は不要。
- ・ 予算は、項目だけでなく補足説明を入れる。
- ・ 「一般質問」の掲載基準やルールを紹介したほうがよい。  
本町の場合 → 一般質問 (町長・課長の考えを要約)
- ・ 漢字とひらがなの標準化は、「用事用語（記者）ハンドブック」を引用する。  
例. 下さい → ください 様々 → さまざま  
更に → さらに 未だ → いまだ 且つ → かつ

### 【感想】

- ◎他町村の議会だよりは、特に表紙が広報誌と重複しており無駄である。  
大半が一般質問であり、持論が長々と記されているが、課長答弁も多くどこが重要な  
のか分かりにくい。
- ◎湯前町の議会だよりは、現状2ページ構成ながらも、住民目線の分かりやすさを追究  
している。
- ◎広報担当が変わっても同じ品質の議会だよりを編集できるように、これまで3回の研  
修で学んだ内容を盛り込んだ「議会だよりチェックポイント、ひな型」を広報担当で  
作成している。議会だより2月号から実際に運用してみたい。



## 【参考】球磨町村 議会だより比較 [2015 年度]

市町村	構成	頁数 (目安)	委員数 /定数 (有権者)	議会だより タイトル (議会中継)
湯前町	広報	2	2/10 (3544)	議会だより (音声－議会中継)
水上村	広報	10	4/10 (1973)	議会だより
多良木町	別冊	16	6/12 (8285)	こだま
あさぎり町	別冊	18	6/16 (13484)	あさぎり (インターネット議会中継)
錦町	別冊	10	6/12 (8779)	ほおじろ (音声－議会中継)
球磨村	別冊	12	4/10 (3553)	議会だより
五木村	別冊	10	3?/10 (1068)	やまめ
相良村	別冊	14	6/10 (4043)	タイトル→さがら (インターネット議会中継)
山江村	別冊	10	4/10 (2865)	タイトル→まるおか (CATV議会中継)
人吉市	別冊	8	8/18 (27539)	タイトル→議会だより (インターネット議会中継)

### ◆本町「議会だより」の方針

◎『ゆのまえ広報』に含めることで、完読率100%を目指す。

◎住民目線で、本町独自の議会だより形式（見開き2頁）を追究する。

◎印刷コストの経費削減（人件費や印刷費など）